

基本目標	1 ～そうさ!!匠瑳で働こう～ 地域における若者の雇用を創出する
関係課	産業振興課

1 数値目標

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
市内事業所従業員数	14,900人	14,729人	-	-	-			-
数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	市内事業所従業員数の増加に向けては、市の様々な分野における一体的な産業振興が必要となる。そのため、下記具体的施策に掲げた事項をバランスよく推進していく必要がある。							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	今後も具体的施策を推進していくとともに、産業間の連携についても視野に入れながら取り組んでいく。							

2 具体的施策とKPI

(1) 農林水産業の活性化

① 「日本有数の植木のまち」の推進

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度								
A アンタルヤ国際園芸博覧会を契機とした植木売買契約締結数	2件	0件	0件	3件	3件			◎								
B 植木めぐりツアー、まち歩きコースなど観光コンテンツの作成	3件	0件	0件	2件	2件			○								
C 植木めぐりツアー、まち歩きコースなど観光コンテンツの参加者数	120人	0人	0人	0人	0人			△								
D 千葉県銘木100選登録数	48本	42本	45本	57本	58本			◎								
E 輸出樹種数	12樹種	9樹種	9樹種	9樹種	9樹種			○								
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">A</td> <td>既にKPIを達成。トルコとの繋がりが構築されたことにより、今後も継続的な引き合いが見込まれている。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td>植木ガイドマップの中でコースを設定（徒歩コース1件・ドライブコース1件）。更なるコンテンツ化を図る。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C</td> <td>匠瑳市植木組合と、植木の観光コンテンツ化やツアーについて意見交換を行った。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D</td> <td>既にKPIを達成。</td> </tr> </table>								A	既にKPIを達成。トルコとの繋がりが構築されたことにより、今後も継続的な引き合いが見込まれている。	B	植木ガイドマップの中でコースを設定（徒歩コース1件・ドライブコース1件）。更なるコンテンツ化を図る。	C	匠瑳市植木組合と、植木の観光コンテンツ化やツアーについて意見交換を行った。	D	既にKPIを達成。
A	既にKPIを達成。トルコとの繋がりが構築されたことにより、今後も継続的な引き合いが見込まれている。															
B	植木ガイドマップの中でコースを設定（徒歩コース1件・ドライブコース1件）。更なるコンテンツ化を図る。															
C	匠瑳市植木組合と、植木の観光コンテンツ化やツアーについて意見交換を行った。															
D	既にKPIを達成。															

	E	輸出の現場では、出荷相手国のニーズや検疫体制に適合した樹種の選定が行われている。
今後の方針等 (取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)	A	引き続き輸出についての情報収集や、生産者等に対する財政支援等を行う。
	B	引き続き新たなコースを検討する。特に、現状のコースは駅から出発するルートのため、市の北部・南部のルートを検討する。
	C	上記コース作りと連動し、まち歩きツアーやバスツアー等について企画・実行を検討する。
	D	今後も植木組合等と連携し、候補となる植木の掘り起こしを継続する。
	E	国際的な展示博覧会への出展やバイヤー誘致等を通じて、出荷相手国のニーズや検疫体制に適合した樹種の選定を継続する。

② 新規就農者の確保

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	認定農業者数	280件	254件	263件	270件	271件			○
B	認定新規就農者数	10件	3件	5件	9件	8件			○
KPI実績値に対する課題等 (実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A	認定制度の周知等による新規認定者の確保及び認定期間満了者への更新を促すことにより、順調に進捗している。認定者の高齢化・後継者不足が課題となる。						
		B	新規就農者への支援事業の実施により、順調に進捗している。農業経営者として定着できるかが課題となる。						
今後の方針等 (取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		A	現在の取組みを継続するとともに、集落営農等、農業経営の法人化を推進するなど、地域の後継者となる担い手の育成に向けた取組みが必要である。						
		B	現在の取組みを継続するとともに、就農後のサポート体制を強化するなど、農業経営の安定化に向けた支援が必要である。						

③ 農業の企業経営化の推進

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	経営体育成基盤整備(大区画)事業着手数(累計)	3地区	3地区	3地区	3地区	3地区			◎
B	複合経営に取り組む農家(事業体)数	200件	141件	148件	145件	152件			○
KPI実績値に対する課題等 (・実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A	既にKPIを達成。						
		B	市内の複合農家は、水稻経営との複合経営に取り組む農家が主である。近年、水稻経営については、小規模農家から水稻専作の大規模経営体への経営委託が増加傾向にあるため、進捗は芳しくない。						
今後の方針等 (・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		A	事業完了後の農地集積を推進する。						
		B	水稻複合農家の大幅な増加は見込めないため、それ以外の複合経営について、関係機関と連携し検討・推進していく必要がある。						

④ 6次産業化の推進

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	6次産業化に取り組む農家(事業体)数	20件	17件	16件	16件	16件			×
KPI実績値に対する課題等 (・実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A	6次産業化に取り組む農家数は、近年横ばいの状態が続いている。						
今後の方針等 (・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		A	農家レストランなどの開発促進を進め、雇用の確保、所得の安定化などの支援を図る。						

⑤ 生産基盤の強化と施設などの保全管理

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	農地利用集積面積	804ha	344ha	359ha	377ha	427.1ha			○
KPI実績値に対する課題等 (・実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A	多くの土地所有者の協力により農地利用集積を行っている。						
今後の方針等 (・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		A	休耕地などの所有者に対して、貸付・売買を積極的に呼び掛けていく。						

⑥ 耕作放棄地の発生防止・解消

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	耕作放棄地面積	480ha	517ha	520ha	521ha	521ha			×
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		A	多面的機能支払交付金事業により、活動組織が遊休農地発生防止のため、点検や草刈り等を実施した。 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金事業については活用がなかった。						
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		A	引き続き各種事業の活用や、農業者に対する周知と連携を推進し、耕作放棄地の発生防止に努める。						

(2) 産業振興および産業間連携の推進

① 地域外からの企業誘致の推進

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	地域外からの企業誘致数	1件	0件/年	0件	0件	0件			×
B	企業誘致条例による奨励措置適用事業所数	6か所	5か所	7か所	9か所	10か所			◎
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		A	みどり平工業団地の空き区画がないことから、地域外からの企業の誘致には結びつかなかった。工業団地以外の空き物件の情報整理が今後の課題である。						
		B	匠瑤市企業誘致条例を改正し、固定資産税の免除を行う対象業種を拡大、また市民の雇用に対する雇用奨励補助金制度を創設した。平成29年度は奨励措置適用企業数3件、雇用奨励補助金交付企業1件、雇用2名であった。						
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		A	空き物件情報（事業用地や店舗等）を集約し、地域外企業に提供できる体制作りを行う。空き公共施設への企業誘致を推進する。						
		B	対象業種の見直しなどを定期的に行い、企業ニーズに合った制度にする。						

② 起業支援の推進

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	年間起業数	10件/年	4件/年	4件/年	3件/年	12件/年			◎
B	経営相談指導件数	2,500件/年	1,902件/年	2,303件/年	2,491件/年	2,486件/年			○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		<p>A 産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画により、匠瑳市創業塾を実施したほか、創業資金利子補給金制度を創設し、金利負担の軽減を図った。創業相談件数50件、創業塾受講者数11名となり、創業者数増につながった。</p> <p>B 市商工会経営指導員による経営相談は、創業者や地域の小規模事業者が第一に相談を行う重要な支援である。件数は横ばいであるが、創業者のスタートアップ支援や事業者の経営力強化に貢献している。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		<p>A 創業者への補助金制度などを創設し、より創業しやすい環境整備を行うことで、創業者の増加を図る。</p> <p>B 創業者の創業後のフォローアップなども行い、持続可能な経営が可能になるよう支援していく。</p>							

③ 若者の就労支援

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	市内企業と若者のマッチング支援による就職者数	10人	0人	0人	0人	0人			×
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		<p>A 高校生とみどり平工業団地企業との意見交換会を実施した。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		<p>A 合同就職説明会や就職セミナーの実施を検討していく。</p>							

④ ブランド化の推進

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	ブランド商品選定数	10品	0品	13品	13品	17品			◎
B	新たな特産品開発数	1品	0品	0品	0品	0品			×
KPI実績値に対する課題等 (実施事項 実績値の要因 課題)		A	新たに「匠達の逸品」の認定を行い、商品のブランド力向上を図った。						
		B	個々の事業者が新商品開発などを実施しているが、市の特産品としては印象づけられていない。						
今後の方針等 (取組方針 実施予定事項 課題解決方法)		A	ブランディングにはプロモーションが非常に重要である。「匠達の逸品」についても、市外、県外、海外に認知されるようなプロモーションを実施し、商品の付加価値を高める。						
		B	農商工連携や地域資源活用を支援し、公民一体となって、市の特産品開発につなげる。						

⑤ 効果的な観光情報の発信

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	観光ガイドブックによるおすすめルート設定数	10ルート	4ルート	4ルート	4ルート	7ルート			○
B	匠瑳市をロケ地とする映画・番組数	10本/年	7本/年	5本/年	4本/年	4本/年			△
C	歴史的建造物などを活用したイベント開催件数	3回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年			△
KPI実績値に対する課題等 (実施事項 実績値の要因 課題)		A	平成28年度設定済みの4ルートに、八社参り長路及び植木ルート2件が加わった。						
		B	平成29年度は、ロケ地の候補として10件の問い合わせがあり、誘致を図ったが、うち6件は撮影条件が合わず、採用されなかった。						
		C	従来から開催している、「飯高檀林跡」でのコンサート2回にとどまっている。						
今後の方針等 (取組方針 実施予定事項 課題解決方法)		A	引き続き、新規ルートの開拓に努める。						
		B	映画・番組等の制作会社と、ロケ地となる施設等との相互調整を迅速に行い、ロケ誘致に努める。						

	C	「飯高檀林跡」や他の歴史的建造物等を活用したイベント開催を検討する。
--	---	------------------------------------

⑥ 中小企業の経営基盤強化

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	中小企業組合の設立件数	2件/年	0件/年	0件/年	0件/年	0件/年			×
B	融資および利子補給制度利用件数	250件	237件	246件	243件	244件			○
KPI実績値に対する課題等 (<ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A	事業者に対して中小企業組合の制度周知を行っているが、設立実績なし。						
		B	融資件数は増加、利子補給件数は横ばいだった。融資利率の引き下げを行ったため、平成30年度は融資件数増加が見込める。						
今後の方針等 (<ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		A	共同仕入れや共同生産、資金調達などのメリットを提示し、組合設立を促進する。						
		B	今後も事業者のニーズに応じた、制度設計や融資利率の見直しを実施する。						

匠瑛市総合戦略 進行管理シート（平成29年度実績）

基本目標	2 ～そうさ!!匠瑛で暮らそう～ 匠瑛市への定住促進を進める
関係課	企画課

1 数値目標

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
社会増減数	▲291人	/	▲177人	▲326人	▲451人			△
数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	<p>下記具体的施策に掲げた事業を実施し数値目標の改善に努めてきたが、依然として人口減少は進行しており、抜本的な対策には至っていない。 既存の取組を継続することはもとより、移住・定住促進のための事業や取組の充実を検討・実施する必要がある。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	<p>引き続き取組を継続するとともに、移住・定住促進に係る先進事例の研究等を通して、事業・取組の充実を検討する。</p>							

2 具体的施策とKPI

① 定住・移住人口の確保

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A 転入者マイホーム取得奨励金を活用した転入者数	380人	188人	284人	344人	423人			◎
B 空き家バンク物件登録数	50件	15件	18件	24件	34件			○
C 空き家バンク成約数	15件	4件	6件	9件	12件			○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	<p>A 転入者マイホーム取得奨励金交付事業を3年間継続することとした。また、市民課窓口や地域イベント、移住相談会や移住ツアー、広報での移住特集、移住パンフレット（本市の紹介や移住者の体験談、各種移住支援制度をまとめたもの）等様々な媒体を通して事業周知を行った。 今後は事業の周知を継続するとともに、本市への移住に対する具体的なイメージを醸成することにより移住者の増加を図るため、移住希望者が本市に短期滞在することのできる施設（お試し住宅）の整備が課題である。</p> <p>B 空き家バンクの物件登録数を増やすため、固定資産税納税通知書に事業の案内を同封した。また、市内の空き家実態調査の結果をもとに、利用可能な空き家所有者に対して個別に空き家バンクへの登録を勧奨した。 一方で、家屋の状態等により空き家バンクへの登録に至らない物件も多く、当該物件への対応が課題である。</p> <p>C 空き家バンクの制度や登録物件について、転入者マイホーム取得奨励金と同様に周知した。成約数のさらなる増加に向けては、登録物件数の増加、利用者のニーズに合った物件の提供（状態にこだわらず、安価な住宅を求める利用者が多い。）が課題である。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	<p>A 事業の周知については継続する。お試し住宅については、空き家等を活用した整備条件等の検討を行う。</p> <p>B 事業の周知について引き続き継続するとともに、空き家バンクへの登録に至らなかった物件について、市内NPO法人と連携し、利活用を促進する。</p>							

	C	引き続き登録物件の周知を図るとともに、空き家所有者に対して利用者のニーズを伝える等、利用者のニーズに合った物件の提供に努める。
--	---	---

② 高校生のまちづくりへの参加

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	匠瑳に住み続けたいと考える高校生の割合	15.0%	9.0%	-	-	-			-
KPI実績値に対する課題等 (・実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A 市内の各高等学校の生徒から匠瑳市に対する意見を伺い、今後のまちづくり及び高校生のまちづくりへの参加に向けた各種事業の参考とするため、「匠瑳市と高校生の意見交換会」を開催。その他、高校生がよかっぺ祭りに参加する機会の提供や、各種ボランティア活動の情報提供を行い、実際に高校生が参加した。 今後も、高校生が市にかかわることのできる機会を継続的に設ける必要がある。							
今後の方針等 (・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		A 若者が主な構成員となる団体等の地域づくり等の公共的な活動への後援等により、当該活動を支援し、若者の当該活動に対する参画を促進する。 また、高校教育では、今後、課外活動としてのボランティア等や「自ら課題を見出し、周囲と協力して解決する力」が重要視されることとなる。そのため、今後も、ボランティア情報等の情報提供や、よかっぺ祭りに参加を継続するとともに、高校生が本市を知り、本市に親しみを持てるよう、高校生が参加できる事業を増加させる。 さらには高校等との協働により、「自ら課題を見出し、周囲と協力して解決する力」の育成の一環として市民提案型事業（子どもまちづくり提案型）の提案の促進や、まちづくりへの意見の提案等ができる環境を整える。							

③ 生涯活躍のまちづくり

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	生涯活躍のまちづくり検討のための協議会設置数	1件以上	0件	0件	1件	1件			◎
B	生涯活躍のまち拠点の設置数	1件以上	0件	0件	0件	0件			○
KPI実績値に対する課題等 (・実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		A 国の地方創生推進交付金を活用し、匠瑳市版生涯活躍のまち形成事業を実施。市の支援のもと、事業主体の社会福祉法人九十九里ホームが設置した飯倉駅前地区まちづくり協議会において匠瑳市版生涯活躍のまち事業計画を協議し、同法人が計画を策定した。今後は、東京都等の都市部からの移住者を確保するために、匠瑳市版生涯活躍のまち形成事業のPR・プロモーションが必要である。また、全国の260余の団体で生涯活躍のまち形成事業が進みつつあることから、東京都等の都市部住民を移住者として確保するために、匠瑳市の特色を活かした匠瑳市版生涯活躍のまち形成事業の創造が必要である。							
今後の方針等 (・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		A 事業主体の社会福祉法人九十九里ホームが策定する匠瑳市版生涯活躍のまち事業計画の実現を図るため、同法人を支援する。							
		B 匠瑳市版生涯活躍のまち形成事業の中で、生涯活躍のまち拠点がもつ機能等について検討を重ねる方針である。							

匠瑳市総合戦略 進行管理シート（平成29年度実績）

基本目標	3 ～そうさ!!匠瑳で育てよう～ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を満たす
関係課	福祉課、健康管理課、学校教育課、企画課

1 数値目標

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
合計特殊出生率	1.47	1.35	1.37	1.24	-			-
数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	下記具体的施策に掲げた事業を実施し、結婚・出産・子育て等、それぞれのライフステージに合わせた支援を行った。							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	引き続き各施策の実施・充実に努めるとともに、ホームページ等において各種取組に関する情報をわかりやすく提供する。							

2 具体的施策とKPI

① 子育て世代のコミュニケーションの充実

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A 年間つどいの広場利用者数	9,000人/年	8,661人/年	8,797人/年	6,919人/年	7,257人/年			△
B 子育てサークル数	2サークル	1サークル	1サークル	1サークル	1サークル			△
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	<p>A 乳幼児を持つ親子が気軽につどい、情報交換や交流のできる場所を提供するとともに、参加者から寄せられる相談内容や研修等で紹介された情報等を盛り込んだ講習会を実施して利用者拡大を図っているが、保育料の第2子半額、第3子無料化等の子育て支援施策の実施により保育所利用者が増加しているため、つどいの広場利用者はあまり増加していない。</p> <p>B 子育てサークルの活動の場の提供、広報等による周知を行ったが、サークル数の増加には至っていない。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	<p>A つどいの広場は子育て支援に関する情報や相談・助言を提供する場として引き続き重要な役割を担うことになる。研修等の受講により子育て支援アドバイザーのスキルアップを図るとともに、利用者の要望を参考に新たな講習会等を実施するほか広報等によりつどいの広場の周知を図り、利用を促進する。</p> <p>B 民間団体が開催する子育てに関する講習会等を市が後援することで参加者拡大を図り、参加者同士の交流を促進して子育てサークル活動の活性化につなげる。</p>							

② 子育て世代の負担軽減

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	病児・病後児保育実施か所数	1か所	0か所	0か所	0か所	0か所			△
B	一時保育実施か所数	8か所	7か所	7か所	7か所	7か所			○
C	障害児保育実施か所数 (助成か所数)	11か所 (7か所)	11か所 (6か所)	11か所 (0か所)	11か所 (0か所)	11か所 (0か所)			△
D	育児休業取得率	男性10.0% 女性40.0%	男性2.6% 女性31.9%	-	-	-			-
E	子育てについて不安や負担を感じる人の割合	3.0%	5.1%	-	-	-			-
KPI実績値に対する課題等									
<ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		A	病児・病後児保育事業は、看護師等の人材確保に加えて、感染症等に罹患している児童を保育する保育室や医療設備の設置が必要となるため、既存の保育園が実施することは困難である。						
		B	現在民間保育園7園において、一時保育を実施している。						
		C	現在公立・民間保育園において障害児保育を実施している。障害児保育に係る助成金の支給基準を満たす保育士数を確保できていないため、助成か所数はゼロとなっている。						
		D	現状、具体的な取組なし						
		E	本基本目標に掲げた具体的施策や、「匠瑤市子ども・子育て支援事業計画」に掲げられた施策を推進・実施した。						
今後の方針等									
<ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		A	認定こども園を開設した社会福祉法人九十九里ホームと病児・病後児保育事業の実施について協議する。実施に当たっては子ども・子育て支援交付金を財源として運営を補助する。						
		B	上記認定こども園を加え、民間保育園等8園において一時保育事業を実施する。						
		C	障害児保育については実施済みであるが、助成か所数増加の課題である保育士数の確保に向け、県の補助事業を活用して保育士の処遇改善を実施する。						
		D	育児休業取得率が高い企業を優良企業として、広報、市ホームページ、SNS等を活用して紹介することを検討する。						
		E	引き続き基本目標に掲げた具体的施策や、「匠瑤市子ども・子育て支援事業計画」に掲げられた施策を総合的に推進し、子育てについての不安や負担の軽減に努める。						

③ 子どもたちの遊び場の確保

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	放課後児童クラブ実施か所数	14か所	11か所	11か所	11か所	11か所			○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		A	当所目標としていた3か所の増設について、1か所目については、平成28年度から放課後子ども教室を併設した。2か所目については、校舎を改築し活動スペースを増やした。3か所目については、平成29年度から空き教室を1教室増やし、活動スペースを増やした。						
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		A	引き続き、入所児童の動向を調査し、必要に応じて増設等を図っていく。						

④ 出産しやすい環境づくり

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	両親学級への参加率	30.0%	22.8%	18.5%	20.40%	24.40%			○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		A	安心して出産・育児が迎えられるよう、マタニティクラスで相談や情報提供を行った。参加率は案内通知の工夫や個別勧奨を行ったことで上昇しているものの、産前休暇に入る前の妊婦は医療機関での母親学級もあり、仕事を優先するなどの要因が参加率に影響していると考えられる。						
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		A	既存のマタニティクラスの内容を変更し、妊娠後期の教室を新たに行い、産前の教室の充実を図るとともに教室に参加しやすい環境づくりに努めていく。						

⑤ 婚活支援の充実

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	婚活イベントのカップル数	150組	47組	63組	87組	101組			○
B	婚活サポーター数	10人	0人	0人	0人	4人			○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		A	平成29年度は5回の婚活イベントを開催し、合計14組のカップルが成立した。一方で、女性参加者の確保が困難という課題があり、女性の参加者が少なくイベント中止となった事例も発生した。本事業の更なる周知を図るため、平成29年9月にFacebookページを開設した。今後も、より一層の事業周知が課題である。						
		B	平成29年8月1日に婚活サポーター制度を創設し、同年度中に4名の婚活サポーターを委嘱した。今後は、サポーターの増加に向けた取組や利用者向けの制度周知が必要である。						
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		A	広報や市ホームページ、SNS等様々な媒体での事業周知を、婚活サポーターの協力も得ながら行っていく。併せて、イベント以外での結婚に向けた支援を、婚活サポーターの協力を得ながら実施する。						
		B	婚活サポーター及び利用者の増加に向けて周知を継続するとともに、新たな方を婚活サポーターと共に検討していく。						

匠瑛市総合戦略 進行管理シート（平成29年度実績）

基本目標	4 ～そうさ!!匠瑛でつながろう～ 地域との多様な連携を進める
関係課	環境生活課、産業振興課、企画課

1 数値目標

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
協働によるまちづくりが推進されている と思う市民割合	20.0%	15.7%	-	-	-			-
数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	平成27年度に匠瑛市市民協働指針、匠瑛市市民協働推進条例を定め、平成28年度から同条例を施行する等、下記の具体的施策に掲げた取組をはじめとして、市民協働推進の主管課である環境生活課での各種事業（市民提案型事業に対する助成等）を通して、協働の理念が根付くよう努めている。							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	今後も、協働について庁内及び市民周知を図りつつ、市の様々な事業の中に協働という視点を盛り込むよう努める。							

2 具体的施策とKPI

① 多様な主体による連携・協働の促進

指標	目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A 市内企業と若者のマッチング支援による就職者数（再掲）	10人	0人	0人	0人	0人			×
B 婚活サポーター数（再掲）	10人	0人	0人	0人	4人			○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	<p>A 高校生とみどり平工業団地企業との意見交換会を実施した。</p> <p>B 平成29年8月1日に婚活サポーター制度を創設し、同年度中に4名の婚活サポーターを委嘱した。 今後は、サポーターの増加に向けた取組や利用者向けの制度周知が必要である。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	<p>A 合同就職説明会や就職セミナーの実施を検討していく。</p> <p>B 婚活サポーター及び利用者の増加に向けて周知を継続するとともに、新たな方策を婚活サポーターと共に検討していく。</p>							

② 交流人口の増加

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	観光入込客数	1,100,000人/年	1,017,659人/年	976,678人/年	950,021人/年	1,018,015人/年			○
B	宿泊客数	18,500人/年	18,460人/年	14,313人/年	5,553人/年	4,550人/年			×
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		<p>A 市場まつり、八重垣神社祇園祭などの各種イベント、ふれあいパーク八日市場、飯高寺、匝りの里などの観光地等の入込客数を調査した。</p> <p>B 国民宿舎の廃業等、宿泊施設の減少による。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		<p>A 各種イベント内容の充実や観光情報の周知に努め、入込客数増加を図る。</p> <p>B 宿泊業を営む企業の固定資産税免除措置等により、宿泊施設の誘致を図る。</p>							

③ 都市と農村の交流の推進

指標		目標 (H31)	現況 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (H31)	進捗度
A	市民農園利用者数	90人	29人	32人	33人	31人			△
B	農業体験・交流イベント参加者数	700人/年	560人/年	767人/年	599人/年	501人/年			△
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		<p>A 第一市民農園の利用者数は、ここ数年大きな増減は無く、ほぼ全ての区画を貸出中である。一方、第二市民農園の利用者数は微減しており、利用者数の向上が課題である。</p> <p>B 250人程度の参加者を見込んでいた案山子づくりイベント・稲刈り体験イベントが台風のため中止となり、参加者数が減少した。また、体験・交流イベントはニーズが大きいものの、新たに取組む農業者等の発掘に難航している。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		<p>A 観光事業との連携より、一層のPRを推進する。市民活動サポートセンターと連携を強化し、市内団体による空き区画の活用・農園のPRを推進する。利用促進に当たり、市内外の教育機関や企業等と連携した活用を検討する。</p> <p>B 既存の体験・交流イベントについては、定着化や自走化を目指して、実施回数やコンテンツ内容の更なる充実を図るとともに、新たな担い手の発掘・育成にも努める。</p>							

重要業績評価指標(KPI)の状況
平成30年3月現在

KPI全体の状況		◎	○	△	×	－	計
①	該当個数	8	19	9	8	3	47
②	率(%)	17.02	40.43	19.15	17.02	6.38	100

◎+○ 個数 27個 率 57.45 %

基本目標1 ~そうさ!!匠で働こう~ 地域における若者の雇用を創出する	◎	○	△	×	－	計
	6	9	3	6	0	24
(1)農水産業の活性化	◎	○	△	×	－	小計
	3	6	1	2	0	12
① 日本有数の植木のまちの推進	2	2	1			5
② 新規就農者の確保		2				2
③ 農業の企業経営化の推進	1	1				2
④ 6次産業化の推進				1		1
⑤ 生産基盤の強化と施設等の保安全管理		1				1
⑥ 耕作放棄地の発生防止・解消				1		1
(2)産業振興及び産業間連携の推進	◎	○	△	×	－	小計
	3	3	2	4	0	12
① 地域外からの企業誘致の推進	1			1		2
② 起業支援の推進	1	1				2
③ 若者の就労支援				1		1
④ ブランド化の推進	1			1		2
⑤ 効果的な観光情報の発信		1	2			3
⑥ 中小企業の経営基盤強化		1		1		2

基本目標2 ~そうさ!!匠で暮らそう~ 匠市への定住促進を進める	◎	○	△	×	－	計
	2	3	0	0	1	6
① 定住・移住人口の確保	1	2				3
② 高校生のまちづくりへの参加					1	1
③ 生涯活躍のまちづくり	1	1				2

基本目標3 ~そうさ!!匠で育てよう~ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を満たす	◎	○	△	×	－	計
	0	5	4	0	2	11
① 子育て世代のコミュニケーションの充実			2			2
② 子育て世代の負担軽減		1	2		2	5
③ 子どもたちの遊び場の確保		1				1
④ 出産しやすい環境づくり		1				1
⑤ 婚活支援の充実		2				2

基本目標4 ~そうさ!!匠でつながろう~ 地域との多様な連携を進める	◎	○	△	×	－	計
	0	2	2	2	0	6
① 多様な主体による連携・協働の促進(再掲2件)		1		1		2
② 交流人口の増加		1		1		2
③ 都市と農村の交流の推進			2			2

備考

- ◎・・・目標達成
- ・・・順調に進捗
- △・・・あまり進捗していない
- ×・・・戦略策定時を下回った・未実施
- －・・・未判定

※ 数値及び取組内容等を総合的に判断